

NPO法人RRP研究会 主催

DV 加害者のリスクアセスメント&マネージメント

～SARA(Supposal Assault Risk Assessment)を用いたリスクアセスメントとリスクマネージメントを学ぶ～



SARA は 1990 年代にカナダで開発され、現在では何か国語にも翻訳され、世界で用いられているDVのリスクアセスメントツールです。カナダのサイコロジスト高野 嘉之氏と私たちRRP研究会は、SARA およびストーキングのリスクアセスメントツールであるSAMの翻訳を試みています。今回、翻訳出版に先立ち、ワークショップを開催することになりました。

ワークショップでは、ツールとしてのSARAを知るだけでなく、背景理論であるSTRUCURED PROFESSIONAL JUDGMENT (SPJ)モデルや日本でSARAを実施する際の留意点、被害者支援への応用についても理解を深めます。また、SARAを使った加害者介入のための臨床技法にも触れる予定です。DVの被害者・加害者に関わる専門職の皆様、ぜひご参加ください。(臨床心理士のポイント対象研修として申請予定です)

[日程]2015年3月8日 9時30分～17時

[場所]筑波大学：東京キャンパス文京校舎（茗荷谷駅より徒歩3分）

[参加費]8000円（当日現金のみ） *当日やむ負えない事情で欠席された場合は、振り込みの用紙をお送りしますので、後日、期限までに送金ください

[申し込み期間・方法] 2015年2月1日～28日まで

当NPOホームページ上の申し込みフォームからご送信ください。

RRP研究会HP：<http://www.rrpken.jp/>

*申し込みを受け付けた方には順次メールで、受付表をお送りします。プリントアウトするか、携帯画面等で当日ご持参ください。

[お問い合わせ] F A X・T E L 番号 03-5485-3636

メール welcome@rrpken.jp

*スタッフが常任していないため、電話を受けられないことがあります。恐れ入りますが、その場合はおかけ直してください。



[タイムテーブル]当日に変更になることがあります

開始時間・終了時間	内容
9時30分～9時40分	挨拶・連絡
9時40分～10時40分	リスクアセスメントとSPJ
10時40分～12時	SARAの概要
12時～13時	ランチ
13時～13時30分	日本におけるリスクアセスメント
13時30分～14時	日本でのSARAの活用と注意点
14時～15時	RRPでの実践報告
15時～15時20分	休憩
15時20分～15時50分	SARAの臨床場面での活用について
15時50分～16時30分	グループに分かれてのディスカッション
16時30分～17時	グループの報告と質疑応答

RRP研究会メンバー

理事：信田さよ子（RRP研究会代表，原宿カウンセリングセンター 所長・臨床心理士）・春原由紀（武蔵野大学 名誉教授・臨床心理士）・高橋郁絵（原宿カウンセリングセンター・臨床心理士） 監事：森田展彰（筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授・精神科医）

メンバー：妹尾栄一（茨城県立こころの医療センター・精神科医） 荻田博深（原宿カウンセリングセンター・臨床心理士） 野村こずえ（原宿カウンセリングセンター・臨床心理士） 古藤吾郎（アパクリニック・SW） 相沢雅彦（府中刑務所・臨床心理士） 他

協力者として：高野嘉之 Ph.D（カナダ BC 州司法病院 BC 州公認クリニカルカウンセラー）



速報！！

アラン・ジェンキンス氏来日、ワークショップ開催決定
「加害者臨床の可能性」（信田さよ子・高野嘉之 訳 日本評論社）の原著者アラン・ジェンキンス氏によるDV・虐待加害者へのカウンセリングについてのワークショップを開催いたします。

日時：2015年12月5日～6日（2日間）

場所：東京都内

参加申し込み方法等、詳細が決まり次第、HPにアップします。

おたのしみに！